

## 私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願

### (1) 請願の要旨

1. 幼児教育で育まれた園児の成長を踏まえて小学校の受け入れを考えてほしい。
2. 療育環境を整え、療育と教育が両輪となって、幼児期の子どもの成長を支えることのできる体制づくりを行っていただきたい。
3. 『誰でも通園制度』を乙訓地区にふさわしいものにしていただきたい。

### (2) 請願の理由

日本をはじめヨーロッパなどの先進国が幼児教育の無償化にふみきました。幼児への良質の教育が、社会のより良き変化をもたらし、持続可能な社会を形成するのに役立つという認識から無償化なされたのです。乙訓地区においても、幼児の教育環境を整え、幼児たちがより良い成長を願うことは、この地区にとっても、より良き状況をうみだすことになるでしょう。そのために、より良き教育環境を幼児たちに与えるために、この請願をなします。

### (3) 請願の内容

#### 1. 幼児教育で育まれた園児の成長を踏まえて小学校の受け入れを考えてほしい。

保幼小連携や架け橋プログラムなど、幼児期と学童期をつなぐ多くの試みがなされています。しかし、登校拒否が増加しているように、うまくいっているとはいえない状況です。幼稚園から見ると、幼児たちの成長を踏まえて、小学校がその子たちを迎えるための環境づくりをなしているようには、見えないのです。小学校の先生方が、幼稚園での子どもたちの成長をしっかり把握してくださり、その子たちを受け入れる小学校の教育環境を考えてほしいと願うものです。小学校の先生方が、幼稚園の年長組の学びに参加し、幼児教育での園児の成長を小学校の先生方に理解できる機会を作っておられる校長先生もいますが、地区全体のものにはなっていません。教育委員会が、小学校の先生方が就学前の幼稚園の子どもたちの参観ができる時間的な余裕を作り、幼稚園と小学校の連携を、子どもたちにとって、スムーズにいくようにしてほしいと願います。

## 2. 乙訓地区の療育環境を整え、療育と教育が両輪となって、幼児期の成長を支える体制づくりをお願いしたい。

### 制づくりをお願いしたい。

乙訓地区の療育環境を整えようと発達支援センターなどの設置が予定されています。このことを通して、乙訓地区での園児たちの療育環境が改善されればと、私ども保護者は願っています。療育を必要とする園児たちがその子に相応しい療育を受けられるように、また、特別支援を受ける園児に療育と教育とが両輪となって、その子の成長を支えられるように、乙訓でも、システムを構築していかなければなりません。また、アセスメントや療育機関の紹介がさらに、個々の子どもたちに適切なものになるように工夫しなければなりません。そのためにも、幼児の通う幼稚園と支援のいる子たちの情報共有をなしながら、その子にとって、適切な療育と教育とを受けることのできるシステムの構築を望んでいます。

## 3. 『誰でも通園制度』を乙訓地区にふさわしいものにしていただきたい。

6か月～満3歳未満までの子どもを持つ保護者を支える『誰でも通園制度』の試行事業が、いくつかの市町村で行われつつあります。そして、数年後に、全国の市町村が、この制度を実施する予定となっています。適切で、柔軟な対応が市町村には求められているので、実施されるまでに、制度の担い手での一つにでもある幼稚園との協議をなしていただきたいと思います。

以上３点につきまして、乙訓の行政が、世の中の人材育成の根本や本質にあたる幼児教育や療育に関して、直接しっかり支えるという体制をとる事を公に示す事で、社会もこれを評価し、その結果ますます乙訓地域の健全な発展を促すものとなると信じています。

以上、私たち乙訓地区の私立幼稚園の保護者と教職員は地域住民の期待に応えるため署名簿を添えて助成をお願いいたします。